

経済社会の仕組みと関わりを理解する

手嶋 正章 教授

Prof. Teshima Masaaki

公共の政策

3年前期/専門部門(財政・行政科目群)

現代経済社会の仕組みを理解する

— 「公共の政策」とは、どのような講義ですか？

公共政策の基礎理論の概説を通して、都市を基盤とする現代経済社会の仕組みの本質を解説しています。なぜ政府が必要なのか。どのような機能があり、どんな役割が期待できるのか。それらを、「**他人事ではなく自分自身との関わりという視点から理解してもらいたい**」と考えています。学生にとって「社会との関わり」はまだ実感がないようですが、私たちは常に、社会との関わりを持っています。

— 具体的には、どのような関わりがありますか？

例えば、現代社会で大きな役割を果たしている市場経済。日々、ものを選んで購入している私たちですが、それも立派な「社会との関わり」のひとつなのです。「ものを買う」という個々の意思決定は小さなものですが、その積み重ねが社会の仕組みを通じて、社会全体を変えていくかもしれません。そういったことを例に挙げながら、社会や公共政策の仕組みを理解し、**暮らしを改善していくこと、社会をより良くしていくことに興味・関心を持ってもらえたら嬉しい**です。

Online Class in 2020

文字で理解できるような資料づくり

Web Class というシステムを使った遠隔授業を実施しました。基本的には、対面授業で使っていたパワーポイントを全面的に作り替え、コメント欄には補足説明を書き加えました。学生はその資料を各自でダウンロードして自宅で学習し、最後に課題を提出してもらうことで評価をするというスタイルで講義を実施しました。

より良い社会、より良い暮らしを守る

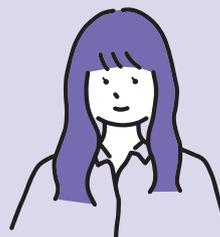
— 受講した学生には、どんな力をつけてほしいですか。

この講義は、これからの時代を担う若者にとって必要不可欠な知識だと私は考えています。将来、公共政策に直接携わる人だけでなく、全ての人が社会の一員として必要な考え方を学ぶ機会にしてほしい。より良い社会を実現し、より良い生活を享受していくためには、適切な公共政策の策定と実施が必要です。公共政策に限らず、**目の前の事象の本質を捉える癖をつけることで、世の中のフレームワークを見る力、それをもとに自ら考える力を身につけることができる**はずです。そうすれば、自ずと日頃見聞きするニュースや情報をよりの確に見極めることができるようになると思います。

— 都市情報学部でどんなことを学んでほしいですか？

文理融合の都市情報学部では、都市計画から情報数理まで、幅広い知識を学ぶことができます。自分の将来を見つめ、その道へ進むために何を学んでいくかを見極めながら、自発的に、また積極的に取り組んでいくことで、きっと社会に出てから役立つことを吸収できると思います。

学生の声



谷口 夢穂 さん(3年生)

この講義を受けて、公共政策における機能や課題など経済にまつわる用語の意味や内容について、理解をより深めることができました。特に私は、市場のシステムについて興味を持ちました。社会問題をどのように考えるかにより、市場などの社会状態の結果が大きく左右することを学びました。